

パーソナルデータ

参加日程 _____ / _____ ~ _____ / _____

氏名 (漢字) _____ (英文) _____

生年月日 19 ____ 年 ____ 月 ____ 日 年齢 ____ 歳 血液型 ____ 型

現住所 〒 _____

自宅TEL (____) _____ - _____ 携帯TEL (____) _____ - _____

勤務先名 _____ 勤務先TEL (____) _____ - _____

緊急連絡先名 _____ 緊急TEL (____) _____ - _____

e-mailアドレス 自宅・携帯・会社 _____

希望レンタルギア

ウェイト(____ kg) レギュレーター B.C.D. ウェットスーツ 4点セット(マスク・スノーケル・フィン・ブーツ)
 その他 _____
 タンク・ウェイト以外のレンタルギアをご希望のお客様は、下記にもご記入ください。

身長 ____ cm 体重 ____ kg 足のサイズ ____ cm 視力 L ____ R ____

ダイビング経験

認定団体 PADI NAUI BSAC SSI NASDS その他
 認定ランク Scuba Diver Open Water Advanced Rescue DM Inst.

C-card No. _____ 経験本数 ____ 本

初回認定日 ____ 年 ____ 月 ____ 日 最終ダイブ日 201 ____ 年 ____ 月 ____ 日

高圧ガス保安法“第14条の2”圧縮ボンベの取扱等の注意事項

- スクーバタンクには、スクーバダイビング用のレギュレーター以外のものを接続して使用しないで下さい。
- 使用するレギュレーターは、毎使用後にメーカーの指示に従って水洗い等の手入れを行って下さい。グリスや油(スプレー)などを勝手につけてはいけません。もしそれらを使用する場合はメーカーの指示に従うようにします。また、年に一度は必ず資格のあるサービスでオーバーホールを受けて下さい。個人で勝手に分解してはいけません。
- スクーバタンクは、錆の発生を防ぐために、使用後は必ずよく水洗いをして下さい。
- スクーバタンクの外面に錆の発生を認めた場合は、防錆の処置を講じること。タンクブーツで覆われている部分は特に錆びやすいので定期的な点検が必要です。
- スクーバタンクを置く場合は、転倒・転落などの恐れのない場所を選び、必要に応じて転倒・転落などを防止する処置を講じて下さい。
- スクーバタンクは高温の状態(40℃以上)になると内部の空気圧が定められた圧力以上に上昇してしまいます。炎天下などの温度の上がる場所に長時間放置したりしないよう(40℃以上に温度が上がらぬよう)にして下さい。
- タンクの温度が異常に上昇した場合(40℃以上になってしまった時)は、ただちに水をかけるなどタンクを冷却する処置を講じて下さい。
- 寒冷地で使用する場合には、タンクバルブやレギュレーターが凍結することがありますので、使用にあたってはメーカーの指示に従って下さい。
- タンクバルブやレギュレーターの接続部等からエアリークがある場合には、ただちに使用を中止して、専門家による点検を受けて下さい。
- 運搬する場合にはタンクを横に寝かせ、ずれたり転がらないように対策をとること。自動車に積んで運搬する場合は、タンクの底を進行方向に向けて積載すること。バルブ側を進行方向に向けて積載する場合はタンクバルブの保護対策を特に慎重に行ってください。
- 使用前にバルブを少し開き、タンク内の空気に臭いがないことを確認してから使用して下さい。
- バルブの操作がかたいものや、形状やその他作動に異常を感じる場合には、そのまま使用せずに専門家による点検を受けて下さい。
- タンク内部に湿気が入り込まないようにするため、タンクの中の空気をカラにしないで下さい。保管する場合には、圧力を残した状態(5~10気圧程度)で保管すること。
- バルブとタンクは5年ごとに検査を受けることが法令によって決められています。また、1年に1度の専門家による内部視察検査を受けるようにして下さい。
- 焼き付け塗装、メッキ、火災などで加熱されたタンクは著しく強度が低下する場合がありますので専門家による承認を得たもの以外は使用しないで下さい。
- タンクの刻印の変更や消去は堅く禁じられています。

私は上記の「高圧ガス取締法 “第14条の2” 圧縮ボンベの取扱等の注意事項」を熟読し、内容を完全に理解いたしました。

署名 _____

201 ____ 年 ____ 月 ____ 日